

69歳のときの高光大船師と、金沢の専称寺に残されている雑誌「汎濫」や「精神界」など。



その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっている。生活の他に信仰はないと高光さんは言うておる』と。そういう話を坂

た。その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっ

た。その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっ

た。その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっ

た。その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっ

た。その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっ

きるといことがわからんということは、人間とは何かという問題でしょう。(中略)僕らの時代はね、『宗教は民衆のアヘンだ』という言葉が、突き刺されるくらい真

百三氏がちょうどその時分に『生活と一枚の宗教』という本を出してます。倉田百三氏はやっぱり遍歴してますわ。それに感動したのが坂木(恵定)君だ。僕らも感動

た。その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっ

た。その時に坂木君が『金沢に高光大船という人がいて、高光さんは生活と信心とが一枚になっ

御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」  
教区御遠忌テーマ「あなたは、与えられたいのちとどう向き合う？」

# 教化本部通信【第44回】

真宗門徒の生活 朝夕におつとめをしましょう・声にだしてお念仏を申しましょう  
を回復しよう すずんでお寺の法座に身を運びましょう・報恩講を大切にお迎えしましょう

## 真宗同朋会運動50年に向けて

その検証 興り(五)

真宗同朋会運動提唱者 訓覇信雄(その2)

教化本部 古卿 誠幸

真宗同朋会運動50年に向けた運動の再検証。本号は「興り」の5回目。前号に続き訓覇信雄師の同朋会運動提唱に至るまでの師の背景について、今号では高光大船師との出会いについて掲載する。

また今回の「点描」は、1963(昭和38)年に策定された「北海道教区同朋会運動推進計画」について掲載する。

清沢満之門下の中で「生活派」と言われる三人(暁鳥敏・高光大船・藤原鉄乗)は「加賀の三羽鳥」と言われている。訓覇信雄師はその一人高光大船によって仏道に目覚めた。それは「仏教は考えてわかるものではない」と言うことを徹底的に教えられた事にある、と言われている。



和やかな雰囲気の中、心地よい緊張感をもった出会いを皆で慶べるものとなりました。



帰敬式を受ける前に本山職員より説明と心得について話を聞いた後に写した写真です。

▼奉仕団 3月  
3/3/3/5  
第2組 後期教習お持ち受け16名

▼一日参拝 3月  
3/10  
第7組 明了寺 29名

## 宗祖親嘗聖人七百五十回御遠忌 お待ち受け総上山